

横芝の碑

(その七十七)

昔の名前で建っています

屋形立会の庚申様

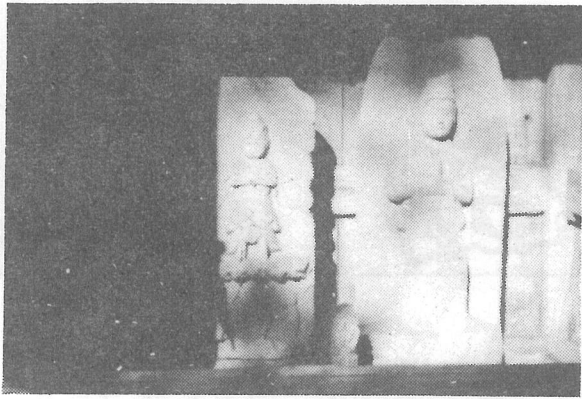
前回、立会の庚申様も珍しい信仰形態を持つているらしい、とお伝えしましたが、この庚申は祠と呼びたいような、床もついている簡素な建物の中に二十三夜様の石像と一緒に祀られているのです

年前に改築されたという話で、社の内側には「正面金剛神改築云々」と記(しる)した板が掲げてありますが、これは庚申様の本尊の青面(しようめん)金剛の誤りだと思えます。

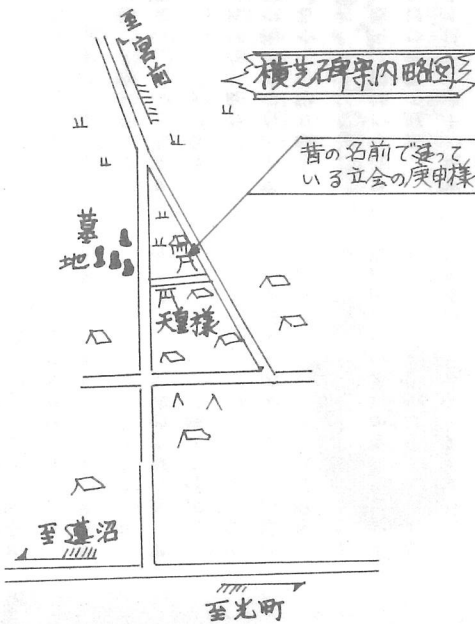
私が正しと考えます。附近の人々は、この社を庚申様と呼ぶ他に、しようめん金剛神と呼んで信仰しています。社は数

私も寡聞の故かも知れませんが横芝町内の庚申様については、古いものでは栗山の宝永四年建立の庚申様、多古の殿様もその前では下乗されたという伝説を持つ橋場の庚申様、複雑なお姿と付属彫刻

を持つ中台の庚申様、於幾粟島境内の横向三猿公の庚申様、その他庚申塚



▲社の中に祀られている庚申様(左)と二十三夜様



臆(いぼ)とりに効果!

今も残る糸栲や

白布奉納の風習

の名残りを止める庚申様等々、いろいろと見かけて来ましたが、ご本尊の名前そのままの呼名で信仰されている庚申様も、鳥居を構えた庚申様も始めてです。恐らく県下でも珍しく、また仮にあつても極く少い存在ではないでしょうか。

庚申様の社は格子戸が嵌つていて、その格子の間には、糸栲(いとかせ)や布巾状の白布が奉納されています。これは、この庚申様は臆(いぼ)に灼(あ)らたか(か)で奉納されている糸栲や白布を拝借して来て患部を擦ると不思議にきれいになるといいます。願いが叶った人は拝借した糸栲や白布を倍に

してお返しする風習が今でも残っています。

写真は、社の中に祀られている庚申様(向って左側)で、正面には青面金剛像、右側の面には正徳六丙申(一七二一)六月吉日、左側の面には屋形村講中十人、と刻まれています。その隣は二十三夜様で、左右振分けに奉造二十三夜元録二己辰(一六八九)十一月二十三日、右左衛門、伝三、兵作等と奉建者と思われる人々の名が刻まれています。中央の二十三夜様の姿が身重になられた観音様と

言った感じに大きくふくらんで表現されているのが印象的で、巷間(こうかん)伝えられている「二十三夜様は、陰曆十月二十三日の夜、月に因んで安産を祈願して連夜(たいや)する」という庶民信仰の裏付けとして評価できると思えます。

(本稿取材に当り、当庚申様の近くにお住いの伊藤武雄さんご夫妻のご協力を頂きました。) 町文化財審議会委員 小沢春光氏寄稿

教職員の異動

(敬称略)

◇大総小学校

転出 寺口一郎(千葉県教育センター) 石井せつ子(松尾大平小)

転入 佐藤和夫(光・光中)

五木田恭子(芝山・菱田小)

◇横芝小学校

転出 大崎一郎(教育庁山武地方出張所) 大木弘之(八日市場豊栄小) 安倉節子(成東・成東小) 斉藤文子(松尾・松尾小) 松谷典子(東金・鶴嶺小)

転入 鈴木満(成東・成東小) 伊藤剛清(飯岡・飯岡小) 与島瑞穂子(成東・成東小) 江原芳子(松尾・豊岡小) 古谷

恭子(新採用) 小高葉子(四街道・旭小)

退職 稲田侑子

◇上堺小学校

転入 橋本真理子(山武・日向小)

◇横芝中学校

転出 中村正義(成東・成東中) 伊藤陽一(連沼・連沼中) 平野良夫(旭・第二中) 大木順子(芝山・芝山中)

転入 山口巖(教育庁山武地方出張所) 今関利雄(八街・八街中) 実川博三(新採用) 高橋美代子(新採用)

